

## かきよう【佳境】

🔥「隣の部署は忙しさの佳境を迎えている」

〈逆用〉「佳」は、良い、美しいの意で、心を動かしたり、興味をそそられたりするような場面が「佳境」。困難や過酷さをとまなうときに使うのは不適切。

## ① 言いかえ

- 😊 大詰め 「捜査もいよいよ大詰めだ」
- 😊 ピーク 「帰省ラッシュのピーク」
- 😊 山場 「選挙戦は山場を迎えている」

## かきく【各位】

? 「関係者各位」

に行ったりするというニュアンスで使われる。

## ① 言いかえ

- 😊 意向 「衆院選出馬の意向を固める」
- 😊 意図 「明確な意図をもって研修を行う」
- 😊 思惑 「さまざまな思惑が渦巻く」
- 😊 考える 「新しい商品を考える」
- 😊 企画 「イベントを企画する」
- 😊 企図 「経済の発展を企図する」
- 😊 計画 「新たな施設の建設を計画する」
- 😊 構想 「新事業を構想する」
- 😊 心積もり 「先方の心づもりが分からない」
- 😊 プラン 「旅行のプランを立てる」

🔥 ほかの無礼語

- 企てる (P.68) ・ 小細工 (P.76) ・ 魂胆 (P.83) ・ 策略 (P.84) ・ 企む (P.124) ・ 目論む (P.202)

〈敬語〉「各位」は本来敬語なので、「各位様」のように「様」を付けるのは二重敬語で不適切とされる。ただ、敬語意識が薄れる傾向にあり、「お客様各位」「取引先様各位」といった使い方は許容とされることも多い。

## ① 言いかえ

- 😊 諸賢 「読者諸賢にはお気づきのことと思う」
- 😊 諸氏 「先輩諸氏に申し上げます」
- 😊 皆様 「ご家族の皆様」
- 😊 皆様方 「皆様方のご協力をお願いします」

## かくさく【画策】

🔥 「企画を通すために画策しているそうだね」

〈悪事〉悪事を目的にしたり、手段を選ばず

